

【特集】めまい

- 診療科紹介 小児科
- NSTの活動について
- 院内癒しスポット
- お知らせ・連携医療機関のご案内
- イベントのご案内・次号予告

セミナー・講演会に参加ください



夕日、照葉「川崎祐宣先生像」

細く夕日に照らされる学園創設者 川崎祐宣先生の銅像。台座には、故人が好きだった言葉「天に星、地に花、人に愛」という自筆の文字が刻まれています。

紅葉「ふるさとの秋」



## めまいの症状・性質

めまいの症状は、グルグル目が回る「回転性めまい」、フワフワふらつく「浮動性めまい」、クラッとする「立ちくらみのようなめまい」の3つに大きく分けられます。

あなたのめまいはどのタイプでしょうか？  
受診のときに医師に伝えると良いでしょう。

### Type 1 回転性めまい (グルグル目が回る)

- 自分自身がグルグル回っている感じ
- 周囲がグルグル回っているように見える



### Type 2 浮動性めまい (フワフワふらつく)

- からだがフワフワした感じでふらつく
- まっすぐ歩けない
- 姿勢を保つのが難しい



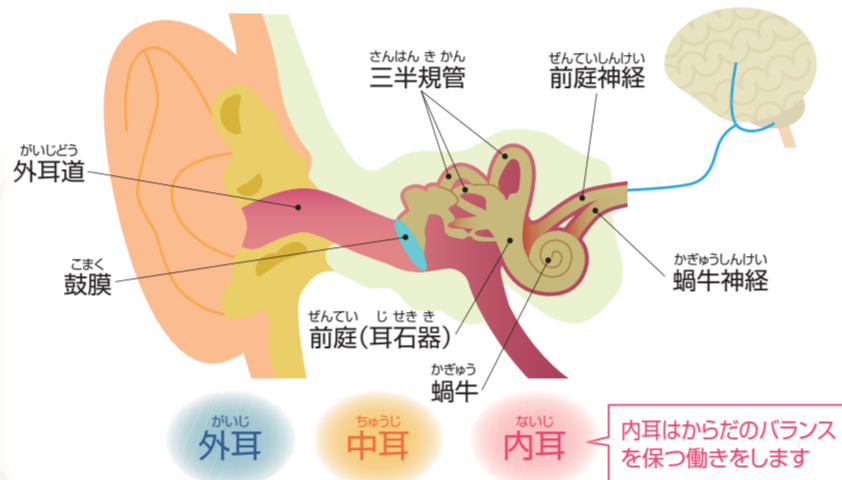
### Type 3 立ちくらみのようなめまい (クラッとする)

- 立ち上がるとクラッとする
- 時に目の前が暗くなる
- 失神を伴う



めまいが起こると、どの科を受診したら良いのでしょうか。患者さんの多くは「分からない」と答えます。まずは耳鼻咽喉科を受診するようにしてください。この理由と代表的なめまい疾患について簡単に説明します。めまい疾患は末梢性（耳の障害）と中枢性（主に脳の障害）に分けることができます。障害部位を分けるには症状は勿論ですが、眼振（眼球の振るえ）を診ることが重要です。これは耳鼻咽喉科が専門です。簡単な眼振検査で末梢性か中枢性かを判断することができます。特に当院の赤外線 CCDカメラを使用するとより眼振の性状を鮮明にとらえることができます。中枢性であれば画像検査（CT、MRI）などを行い、神経内科、脳卒中内科あるいは脳神経外科への受診が必要になります。めまい感を訴えて大学病院や大きな市中病院を受診した94～96%ぐらいが末梢性であったと報告されています。

### めまいの主な障害部位（末梢性）



## 耳鼻咽喉科からのアドバイス

川崎医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 部長 原田 保



## 「めまいは、どの科を受診する？」

めまいが起こると、どの科を受診したら良いのでしょうか。患者さんの多くは「分からない」と答えます。まずは耳鼻咽喉科を受診するようにしてください。この理由と代表的なめまい疾患について簡単に説明します。めまい疾患は末梢性（耳の障害）と中枢性（主に脳の障害）に分けることができます。障害部位を分けるには症状は勿論ですが、眼振（眼球の振るえ）を診ることが重要です。これは耳鼻咽喉科が専門です。簡単な眼振検査で末梢性か中枢性かを判断することができます。特に当院の赤外線 CCDカメラを使用するとより眼振の性状を鮮明にとらえることができます。中枢性であれば画像検査（CT、MRI）などを行い、神経内科、脳卒中内科あるいは脳神経外科への受診が必要になります。めまい感を訴えて大学病院や大きな市中病院を受診した94～96%ぐらいが末梢性であったと報告されています。

## めまい

今号の特集

Let's Try!

## めまいチェックリスト

下記の項目の中でいくつに当てはまるかご自身でチェックしてみましょう。一つでも当てはまる症状があれば、病院で検査を受けましょう。

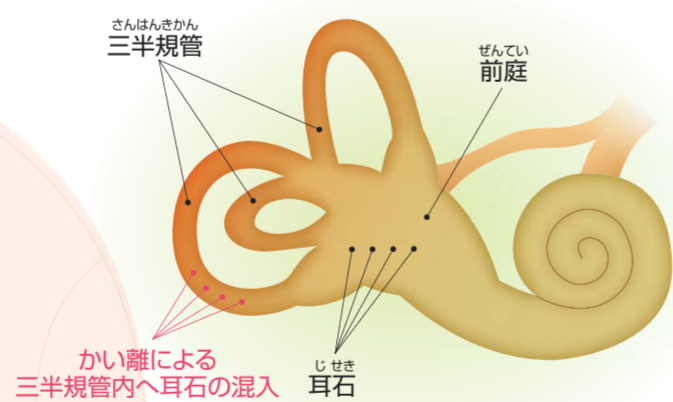
身近な病気解決ナビ.より

- 急に立ち上がった時に、目の前が暗くなったことがある。
- 頭を動かしたり寝返りをうったりすると、目が回るように感じることがある。
- 前触れなく、突然天井がぐるぐる回ったようになることがある。
- 足元がふらつき、フワフワしたように感じることがある。
- まっすぐ歩いているつもりでも、重心が左右によろけてしまうことがある。

**原因** 耳石のかい離  
**病態** 耳の中の「内耳」にある「耳石」という小さな石が、本来の位置から外れ、頭を動かすたびに内耳の中を転げ回るために、めまいが起こるとされています。

半規管の卵形嚢という場所にある耳石がはがれ、からだのバランスを保つ器官である三半規管に入り込んでしまうとめまいが起こります。これが「良性発作性頭位めまい症」という病気です。

### 耳石のかい離



### 良性発作性頭位めまい症とは

良性発作性頭位めまい症は、もともとも多い「めまい」であると同時に、治りやすい「めまい」でもあります。ある程度落ち着いてきたら、体を動かすようにすることで、より改善を促します。めまいを恐れておとなしくし過ぎると、かえって長引くこともあります。

末梢性疾患は① 良性発作性頭位めまい症 ② メニエール病 ③ 突発性難聴 ④ 前庭神経炎などを挙げることができます。末梢性の23%ぐらいは良性発作性頭位めまい症です。内耳にある耳石の機能異常で頭を特定の位置に動かしたり、寝返りをうった時に起こります。治療は理学療法で簡単に治ります。次に多いのはメニエール病で10%ぐらいです。内耳にリンパ液が溜まり、めまいとともに耳鳴や難聴を起こします。繰り返して起こすため、非常に厄介な病気ですが、有効な治療があります。突発性難聴の原因は不明ですが、急に難聴が起こり、めまいを伴うことがあります。5%ぐらいの頻度ですが、発症したらすぐに、受診してください。1週間以内であれば、治癒率が高い疾患です。前庭神経炎は前庭神経がある日突然障害を受け、回転性のめまいを発症します。感冒の後などに起こることが多いと言われています。頻度は1%ぐらいです。いずれにせよ意識障害を伴わないめまいが起こった場合は、**まず耳鼻咽喉科を受診してください。**

第35回

## 診療科のご紹介 小児科



小児科スタッフ

〈後列左から3番目が尾内部長、右から3番目が寺田部長〉

小児科は、15歳以下の小児のあらゆる疾患に対して診療を行っている科です。プライマリケアから高度先進医療まで、また、急性疾患から慢性疾患まで幅広く対応しています。専門分野も多岐にわたったり、感染症、アレルギー、遺伝、内分泌代謝、循環器、神経、血液腫瘍など、それぞれの専門医が揃っており、専門外来では、予防接種、経口減感作療法、成長ホルモン補充療法、遺伝カウンセリング、学校心臓検診スクリーニング、脳波検査、学校検尿スクリーニング、乳幼児健診などに対応しています。もちろん急な発熱や感冒症状などに対応する一般診療も並行して行っており、24時間365日を通してわれわれ小児科医があらゆる小児疾患に対応できるように、救命救急センターで平日夜間休日、小児救急外来を行っています。これらの診療を通して、地域のお子さんの健やかな発育のために優しい医療を提供できるように取り組んでいます。

小児科のホームページはこちら  
詳細はホームページをご覧ください。  
<https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/dept/016.php>



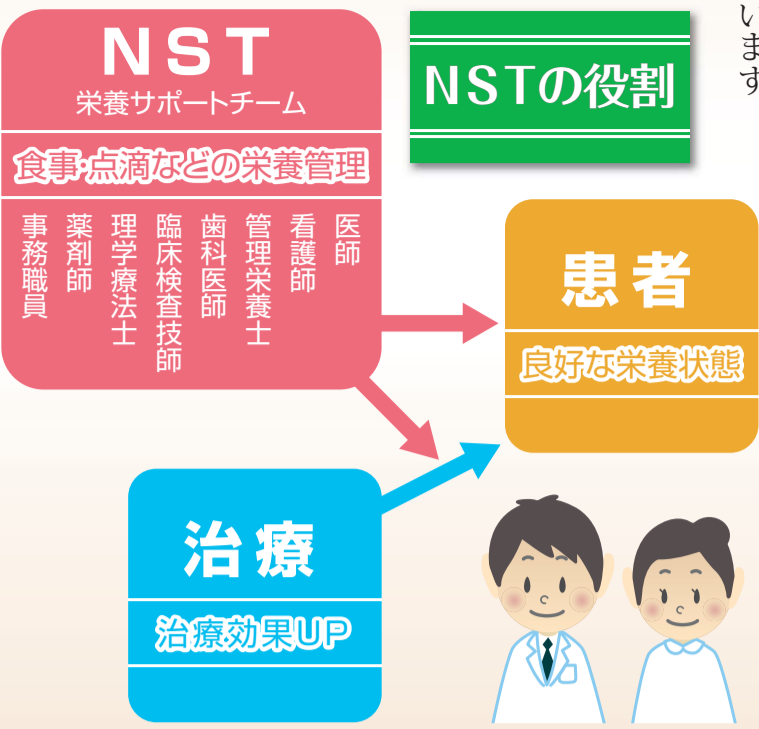


## 「栄養は、生命の根源」

NSTという言葉をご存知でしょうか？最近では、医療従事者に限らず、一般的にも聞いたことのある方が多いと思います。Nutrition support team(栄養サポートチーム)の略で、職種の壁を越え、栄養サポートを実践する多職種チームの活動を指します。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師を中心としたメディカルスタッフが会してサポートを行っており、平成22年からは保険診療加算ができるようになりました。

入院患者さんは、その病気にもよりますが消耗性疾患や消化器疾患、また特異な病態から栄養状態が低下している方が多くいらっしゃいます。血清アルブミン値という栄養状態の指標があります。3.8g/dl以上(現在では4.0以上)が基準値とされています。3.5g/dl以下が約50%であり、なんと3.0g/dl以下の方が約25%も占めていました。すなわち半数の患者さんの栄養状態は低下しており、4分の1の患者さんは重篤な低栄養状態にあるのです。

栄養状態が悪いと、感染しやすくなりまた感染からの治療がしにくくなり、傷が治りにくく、筋肉量が減少することで離床が遅れ、褥創の発生原因となつてしまします。すなわち、栄養状態を改善できれば原疾患の治療効果を向上できる可能性があると考えられています。



## 患者さんの栄養状態を的確に把握する

当院では、入院時に全患者さんの栄養状態を看護師がSGA(Subjective global assessment)評価を行い、栄養状態の把握を管理栄養士が実施します。術前、術後、そのほか抗がん剤治療時など、さまざまな要因で低栄養状態に陥った患者さんに対して、毎週チームでミーティングと回診をし、栄養サポートを行っています。

栄養サポートの内容は、栄養状態の評価と食事量のチェックを行った後、必要なエネルギー量を計算し摂取方法を検討します。週一回のNSTミーティングで約30症例の栄養摂取量の推移を確認し、状態の変化などのチェックとディスカッションを行い、ミーティングのあと直接回診して、患者さんの実情を把握するようにしています。



カンファレンス風景



回診風景

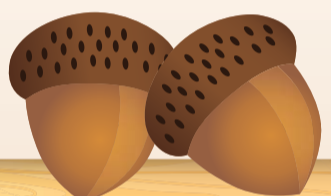
## 栄養状態の改善は、回復への一歩

平成16年から、消化器センターで活動を開始し、平成17年には全科型へと発展し、現在までに1,800例以上のサポートを行ってきました。多くの患者さんをサポートしてきて実感することは、栄養状態を改善することができれば、原病も改善し、活動性も向上します。寝たきりだった人が、歩いて家に帰った例もあります。栄養状態の改善にはリハビリの併用が必須であります。リハビリによって、タンパク質は筋肉として蓄えられていきます。そして消化器外科医として実感するのは、栄養状態の良し悪しが、術後の合併症や入院期間に大きく関与し、更には予後にも影響するということです。

栄養は、生命の根源であり、正しい栄養管理は病気の治療のみならず、予防医学にも大きな意味合いを持っています。これからも、患者さんの栄養改善が病状の改善に結び付くと考えNST活動を継続していきます。

### NSTの役割

1. 全入院患者さんから栄養不良患者を見出し、適切な栄養評価がなされているかをチェックする
2. 栄養障害の早期発見、栄養不良改善のサポート
3. 患者さんの満足度の改善
4. スタッフの知識の向上とチーム医療の実践
5. 栄養治療に伴う合併症の防止



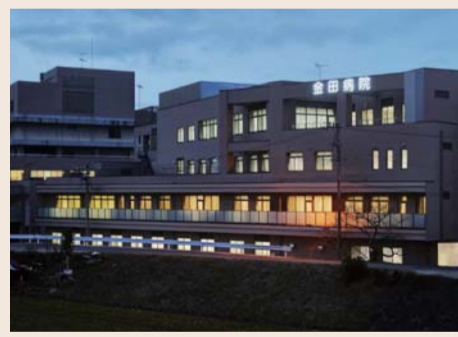
## 連携医療機関のご案内

岡山県真庭市落合インナー  
近くに位置する社会医療法人  
緑社会 金田病院は、おかげさまで本年7月創立65年目を迎えました。許可病床数は172床で、病棟編成は、DPC病棟(急性期、7対1)、地域包括ケア病棟(回復期)、医療療養病棟(慢性期、20対1)です。常勤医師は12名、非常勤医師(不定期を含む)は約60名です。病院機能評価認定病院です。



真庭市で唯一の、DPC対象病院。地域がん診療病院超急性期脳卒中診療が24時間可能な医療機関で、年間1,000台超の救急搬送を受け入れております。岡山県第一号の人間ドック健診施設機能評価認定施設で、年間約3,000名の方が人間ドック健診をご利用くださっています。関連在宅部門は、指定居宅介護支援事業所みどり、みどり訪問看護ステーションです。また、すぐ近くの落合病院と落合病院金田病院連携協力推進協定を結んでいます。

所在地 〒719-3193 岡山県真庭市西原 63  
お問合わせ ☎ 0867-52-1191 FAX 0867-52-1917  
診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、外科、心血管外科、消化器外科、乳癌外科、整形外科、脳神経外科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科  
HP http://www.kaneda-hp.com  
診察時間 各科で異なりますので、HPをご覧ください。  
休診日 土曜午後、日曜日、祝日  
■ 外来診察について 救急車(24時間対応)、紹介状をお持ちの方、予約の方を優先します。予約は、フリーダイヤル0120-52-56-52まで。(診療時間内)



## 院内癒しスポット No.2 「屋上庭園」のご紹介

「屋上庭園」はどこにあるの？  
A Q1 屋上庭園は16階にあります。本館棟16階の最上階に「屋上庭園」があります。色とりどりの華やかな薔薇が植えられています。病院周辺や川崎学園の数々の施設を一望することが出来ます。

入院中に利用できますか。  
A Q2 入院中はもちろん車いすでもご利用できます。入院患者さんには事前に病棟スタッフステーションで必ず許可を得て、訪れるようにしてください。

ご利用時間  
●月曜日～金曜日 9:00～16:30  
●土曜日 9:00～12:00  
※年末年始、祝日を除く

※雨や風が強いなど、天候によってご利用いただけない事もあります。

本館棟 16階  
大学事務局  
中央エレベーター  
軽食・喫茶「プラタナス」

## お知らせ 遺伝診療部を開設 当院では、平成28年7月1日遺伝診療部を開設いたしました。 ※完全予約制

業務内容 遺伝診療および遺伝カウンセリング  
診療日 毎週 木曜日の午後  
場所 本館棟3階 36健康診断センター内

費用 原則として自由診療：初診 7,560円 再診 2,160円  
お問合わせ 小児医療センター(最初の窓口として連絡を受けます) 086-462-1111(内線 24600)

## イベントのご案内

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p>10月 8日 土曜日</p> <p>平成28年度 川崎学園 医学講演会 身近な心臓病</p> <p>日時 平成28年10月8日(土) 13:30～15:00</p> <p>参加無料 場所 川崎医科大学 現代医学教育博物館3階講堂</p> <p>対象 一般</p> <p>お問合わせ 川崎医科大学附属病院庶務課 086-464-1164</p> <p>詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/document/20161008.pdf</p> | <p>10月 8日 土曜日</p> <p>平成28年度 第3回 川崎医療短期大学 公開講座 発達障がいのある子どもへの支援</p> <p>日時 平成28年10月8日(土) 14:00～16:00</p> <p>参加無料 場所 川崎医療短期大学 体育館102教室</p> <p>対象 一般</p> <p>お申込み・お問合わせ 川崎医療短期大学 公開講座係 086-464-1032</p> <p>詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/kouza/kouza.html</p> | <p>10月 9日 日曜日</p> <p>川崎医科大学 市民公開講座 疾病制圧に向けた大学の挑戦</p> <p>日時 平成28年10月9日(日) 10:00～11:00</p> <p>参加無料 場所 川崎医科大学校舎棟7階 M-703教室</p> <p>対象 一般</p> <p>お問合わせ 川崎医科大学研究支援係 086-462-1111(内線 26030)</p> <p>詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/news/document/20161009.pdf</p> | <p>10月 29日 土曜日</p> <p>がん市民公開講座 ご存知ですか?がん療養支援</p> <p>日時 平成28年10月29日(土) 13:30～16:00</p> <p>参加無料 場所 川崎医科大学 8階ラウンジ</p> <p>対象 一般</p> <p>お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111(内線 22612)</p> <p>詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/canc/04-03.php</p> |
|---|---|---|--|

## 次号予告

Main 国尾院長による 年頭所感/感染症

【診療科紹介】消化器外科

- ・「頻尿」について
- ・病院の疑問解消!あれこれ
- ・連携医療機関のご案内
- ・イベントのご案内・次号予告

掲載内容は予告無く変更される場合があります。ご了承ください。